



フィリポ

シリーズ～弟子道～
2011/2/20

12使徒

シモン(ペトロ)	兄弟	アンデレ
ヤコブ	兄弟	ヨハネ
フィリポ		バルトロマイ (ナタナエル)
トマス		マタイ
アルファイの子ヤコブ		タダイ (ヤコブの子ユダ)
熱心党のシモン		イスカリオテのユダ

フィリポ／イエス様との出会い

「その翌日、イエスは、ガリラヤへ行こうとしたときに、フィリポに出会って、「**わたしに従いなさい**」と言われた。「フィリポはナタナエルに出会って言った。『**わたしたちは、モーセが律法に記し、預言者たちも書いている方に出会った。それはナザレの人で、ヨセフの子イエスだ。**』するとナタナエルが、『ナザレから何か良いものが出るだろうか』と言ったので、フィリポは、『**来て、見なさい**』と言った。」 <ヨハネ1:43-46>

イエス様に試されたフィリポ

「イエスは目を上げ、大勢の群衆が御自分の方へ来るのを見て、フィリポに、『**この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいだろうか**』と言われたが、こう言ったのはフィリポを試みるためであって、御自分では何をしようとしているか知っておられたのである。フィリポは、『**めいめいが少しずつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう**』と答えた。」<ヨハネ6:5-7>

最後の晩餐での失敗

「フィリポが『主よ、わたしたちに御父をお示してください。そうすれば満足できます』と言うと、イエスは言われた。『フィリポ、こんなに長い間一緒にいるのに、わたしが分かっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのだ。なぜ、『わたしたちに御父をお示してください』と言うのか。わたしが父の内におり、父がわたしの内におられることを、信じないのか。... はっきり言うておく。わたしを信じる者は、わたしが行う業を行い、また、もっと大きな業を行うようになる。』」<ヨハネ14:8-12>

リアリスト(現実主義者)の限界

- イエス様の言動から、旧約聖書に約束されているメシアだと思った
 - 仲間にも、「来て、見なさい」と言った
- イエス様はリアリストのフィリポを試された
 - フィリポは人の現実を正しく分析できたが、神の現実を信じることができなかった
- フィリポは神様を目に見える形で示して欲しい、とイエス様に迫った
 - イエス様を通して神様を描くことができなかった

神様の現実を生きる弟子

- イエス様は、弟子が自分の世界を超えて、神様の世界を生きるよう導いておられる
 - 「自分を捨てる」とは自分の考え方、生き方を変えることでもある
- 神様の現実是我们たちの現実を超越する
 - 「もっと大きな業を行うようになる。」(12)
 - 「天が地を高く超えているように／わたしの道は、あなたたちの道を／わたしの思いは／あなたたちの思いを、高く超えている。」＜イザヤ55:9＞